

「特別支援教育基礎論」 シラバス(対照)

令和2年度	令和4年度
○学習時間 講義 90 分×15 回＋自学自習	○学習時間 講義 90 分×15 回＋自学自習 (準備学習 10 時間＋事後学習 20 時間)
○授業の概要 特別支援教育課の知識と技能は、幼児教育から高等教育の場にいたるまで、教員にとって必須である。この授業は、特別支援教育の理念や制度、および発達障害の障害特性や指導方法など基礎的な知識を学ぶものである。教員が、幼・小・中学校の通常学級の在籍する特別な支援を要する子どもを理解できるかどうかは、小一プロブレムやいじめ、学級崩壊、学力向上等、学校現場のかかえる問題にも直結する重要な課題である。	
○学校現場に求められるニーズ 「個別の指導計画」作成力(子供理解力、学習指導力)を養成する。 特別の支援を必要とする児童等に対する基礎的な知識、技能を習得し、「特別支援マスター指標」基礎期にスムーズに移行する。	
○授業の目的 ・特別支援教育の理念や制度について理解する。 ・発達障害の特性および指導方法についての基礎的な知識を理解する。	
○到達目標 1. 特別支援教育の理念や制度について理解する。 2. 発達障害の特性および指導方法についての基礎的な知識を得る。	
○成績評価の方法と基準……出席、小テストおよびレポート	
○授業計画並びに授業及び学習の方法……講義形式 資料を配付	
1)オリエンテーション	
2)障害とは？ 障害観の変化について	
3)通常学級に在籍する特別な支援を要する子どもたち	
4)発達障害について①自閉症スペクトラムの特徴とその支援について	
5)発達障害について②ADHDの特徴とその支援について	
6)発達障害について③LDの特徴とその支援について	
7)特別支援教育のシステム	
8)インクルーシブな社会と教育	
9)幼児教育と特別支援教育	
10)特別支援学校における教育	
11)支援の実際	11)個別の指導計画・個別の教育支援計画 ・ワークを活用しての個別の指導計画作成演習 ・グループ協議
12)特別支援教室すばるについて	
13)日本語指導が必要な子ども達への支援について①現状	
14)日本語指導が必要な子ども達への支援について②課題	
15)まとめ	